

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月29日

計画の名称	鳥取県共生社会実現に向けた誰もが集える安全・安心な公園づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～平成30年度（3年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	鳥取県												
計画の目標	鳥取県立布勢総合運動公園は、公園内の運動施設を活かした各種スポーツ大会・キャンプ誘致や、市内の宿泊施設と連携した学生・社会人の合宿誘致等を推進している一方で、各運動施設は広く県民に開放され、気軽な生涯スポーツ利用でも日常的に親しまれている。しかしながら開園後30年以上経過する等施設の旧式化は否めず、また園内の地形的高低差から生じる移動時の問題もあり、バリアフリー化は決して充分ではない。これらの課題を解決し、キャンプや競技の観戦を通じて更なるスポーツの裾野拡大と高齢者や障がい者を含む多様な公園利用を促進するため、誰もが園内のどこでも円滑に使用可能となるよう、障がい者・高齢者のスポーツ利用や観戦等にも配慮した既存公園施設のバリアフリー化整備を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	490	A	490	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H30末)
1	公園施設(園路及び広場、駐車場、便所、運動施設、等)のバリアフリー化率（H27実績 45% → H30 60%） 円滑な公園利用を目的とした公園施設のバリアフリー化目標達成（%） 園路及び広場、駐車場、便所、運動施設、等のバリアフリー化実績を基に目標値を算定する。	45%	50%	60%
2	公園施設のバリアフリー化により施設利用料免除対象となる公園利用者(障がい者や高齢者等)実績（H27実績 212千人 → H30 256千人） 障がい者や高齢者等利用料免除対象となる公園利用者数の目標達成（人） 集計値がある平成26～27年度間での減免利用者数年度実績の対前年度伸び率を基に目標値を算定する。	212千人	228千人	256千人

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	H32			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	鳥取県	直接	鳥取県	—	—	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	布勢総合運動公園における既存公園施設バリアフリー化	鳥取市	■	■	■			490	—	
												小計						490	
												合計						490	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29			
配分額 (a)	200	20			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	200	20			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	0	20			
翌年度繰越額 (f)	200	0			
うち未契約繰越額(g)	200	0			
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	100	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	平成28年度10月補正だったため。				

事前評価チェックシート

計画の名称：鳥取県共生社会実現に向けた誰もが集える安全・安心な公園づくり（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性	
②都市公園の課題への対応（都市公園の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○